

— 令和6年度から10年間で18億円規模を投資 —
ふるさと応援基金（ふるさと納税）を活用した

「教育パッケージ～人口減でも人材豊富に～」を創設

- 少子化のなか，大切な子供たちの能力を最大限に引き出し伸ばすため，ふるさと納税を活用した「教育パッケージ」を創設します。

本パッケージにより，令和6年度から10年間で約18億円規模を新たに教育環境の充実のために投資します。

- 「教育パッケージ」の取組内容は，次のとおりです。

I 子供への投資 【10年総額 10億円】

- ・未来をのぞく旅「中学生修学旅行」の進化（大阪・関西万博，JAXA，JAMSTEC，KEK等を加える）⊕
- ・「小学生科学校外学習」の進化（仙台市科学館，仙台市天文台，ナノテラス等）⊕
- ・人生を変える一冊に出会え「学校図書」の充実 ⊕⊕
- ・あの人に会いたい「講演会・体験会」の定期実施 ⊕⊕
- ・学力向上 もっと前に進もう「A1ドリル」の導入 ⊕⊕
- ・考えを組み立てる「プログラミング教材」の導入 ⊕⊕
- ・みんな英語の達人
 - English Weekend「ALT増員による幼少期からの週末英語教室」の実施 ⊕⊕⊕⊕
 - Friends in the World「マンツーマンオンライン英会話」の導入 ⊕
 - All English Local Trip「国内語学研修3泊4日」の実施 ⊕⊕
 - Short Time English Study Abroad「海外短期語学留学」への派遣 ⊕⊕
 - EIKEN challenge for 3rd Grade「英検」の受検料全額免除 ⊕⊕
- ・目指せ「JAPAN」のユニフォーム
 - 「フェンシング専用練習場」の創設，「大学等と連携した指導体制」の充実，「スポーツ施設と指導のデジタル化」の推進 ⊕⊕⊕

II 誰一人取り残さない 【10年総額 2.5億円】

- ・「分からない」をつくらない「つまずき確認テスト」の実施 ⊕⊕
- ・自分を知り個性を伸ばす「特別支援教育ソフト」の導入 ⊕
- ・誰もの居場所を確保する「不登校・別室登校支援・学習サポーター」の増員 ⊕⊕
- ・子供の居場所づくりをする「民間団体」への経済的支援 ⊕⊕⊕
- ・放課後の遊びや生活の場である「学童保育センター」の運営の充実 ⊕
- ・海と生きる気仙沼 コロナの挽回「プロインストラクターによる水泳補講」の実施 ⊕

III 先生への投資 【10年総額 3.5億円】

- ・動画で予習・研究「指導者用デジタル教科書」の完全導入 ⊕⊕
- ・あなたの隣にカリスマ教員「マイスター教員」の雇用と派遣 ⊕⊕
- ・大学教員，民間講師から学ぶ「指導力向上研修，先進地視察」の実施 ⊕⊕⊕⊕

IV その他新規 【10年総額 2億円】

- ・今後の新たな取組について随時追加していきます。

「教育パッケージ～人口減でも人材豊富に～」の概要

■ 人口減少にあっても豊かな人材の育成を進めることを目的に、大切な子供たちの能力を最大限に引き出し伸ばすため、ふるさと納税を活用して、令和6年度から10年間で約18億円を投資し教育環境の充実を図ります。

■ 本パッケージの実施に当たっては、効果を最大化するための「市統一カリキュラムマネジメント」も同時に進めます。

小学校4年生から中学校3年生までは、現在ほぼ毎日6時間授業のところ、教科等の授業時数を従前どおり確保しながら5時間授業日を増やします。更に台風等による臨時休業に備えて確保してきた予備時数や学校行事への取り組み方等を見直し、長期休業日等のうち4日間を授業日に振り替えることで、子供たちと教員双方の日常の負担を平準化します。

生み出された時間を児童生徒の「個に応じた学び」や「教員が児童生徒と向き合う時間、授業改善のための準備」等に充てながら、本パッケージを活用することで高い学習効果を生み出します。

■ 「教育パッケージ～人口減でも人材豊富に～」における取組内容の説明

I 子供への投資【10年総額 10億】

① 未来をのぞく旅「最先端科学（未来）に触れる機会」の創出

中学3年生を対象に修学旅行の機会を活用。日程を一日延長し、令和7年度は「大阪・関西万博2025」を組み入れた大阪・関西方面とし、令和8年度以降はJAXA（調布市、つくば市等）、KEK（つくば市）、JAMSTEC（横須賀市）等での研修を追加し、科学技術の発展を学ぶ機会を創出します。日程延長分等の費用を市負担とします。なお、令和6年度は時間的制約から日程を延長せず、芸術鑑賞等のためのプログラム費用を追加します。

主に小学4年生を対象に校外学習の機会を活用し、最先端科学施設等で小学生から科学の未来に触れる機会を充実します。

② 「学校図書」の充実

デジタル時代だからこそ毎年度の各学校の図書購入費を増額し、現代文学や歴史、社会学等に関する本に親しみ考える力を養い、AI時代においても人間らしく自分の夢を自分で形づくるため、学校図書の充実を図ります。更に、市立図書館においても学校向け巡回図書の充実を図ります。

③ 「講演会・体験会」の定期実施

各学校で、文化人や一流スポーツ選手・指導者の講話や実技指導により、自分の夢を広げる機会をつくりま

す。

④ 「AIドリル」の導入

令和5年度まではAI非搭載のタブレットドリル（国語、算数・数学のみ）を県の補助事業を活用して導入していましたが、令和6年度からは、授業や家庭学習において個々の理解度や習熟度に応じて自分のペースで学習できるAIドリルを全小中学生に導入します。

導入予定教科

中学生・・・5教科（国語・数学・理科・社会・英語）

小学5・6年生・・・5教科（国語・算数・理科・社会・英語）

3・4年生・・・4教科（国語・算数・理科・社会）

1・2年生・・・2教科（国語・算数）

⑤ 「プログラミング教材」の導入

プログラミングを通して身に付けられる論理的に考える力、情報活用力を育てるプログラミング教材を導入します。

⑥ みんな英語の達人

中学生の英語力は都市部との差が歴然としています。就労までのほとんどの入学試験において英語が必要かつ重視されており、また、これからの若者の多くが活躍する社会では何らかの形で英語に関わることに鑑み、英語力を抜本的に改善し、本市若者の得意とすることを目指します。

⑥-1 「ALT増員による幼少期からの週末英語教室」の実施

ALT（外国語指導助手）を市独自で増員を図り、週末英語教室の開催など、幼少期から英語とふれ合い続け、英語の中で暮らす環境を創出します。

⑥-2 「マンツーマンオンライン英会話」を実施

中学生を対象に、タブレットを通して世界各地のネイティブ講師との英会話を継続実施し、英語を生活の一部とする機会をつくります。

⑥-3 「国内語学研修3泊4日」の実施

中世英国を再現した語学研修施設に滞在し、常時20人を超えるネイティブ教員とのオールイングリッシュ会話により、実践的に英語や英国の文化を学び、英語学習へのモチベーション、英語による発信力及び海外への興味・関心を高めます。

夏季国内語学研修

対 象 中学生で英検3級以上取得者もしくは見込者 20人程度

実施時期 夏季休業中（3泊4日） 令和6年8月11日（日）～14日（水）

実施場所 「ブリティッシュ・ヒルズ」 福島県岩瀬郡天栄村大字田良尾字芝草1-8

冬季国内語学研修

対 象 小学生高学年・中学生で英検4級以上取得者もしくは見込者 30人程度

実施時期 冬季休業中（3泊4日） 令和6年12月25日（水）～28日（土）

実施場所 「ブリティッシュ・ヒルズ」 福島県岩瀬郡天栄村大字田良尾字芝草1-8

⑦ 「海外短期語学留学」への派遣 ※令和7年度より実施

次代を担う市内の中高生が、異文化に対する理解を深め、幅広い視野、コミュニケーション能力等を身に付ける機会を創出するため、海外短期留学を促し、英検3級以上の中高生に対し、その費用の一部を補助します。

⑧ 「中学卒業までに50%以上が英検3級を取得する」という目標を設定

中学校段階において、現在最も普及している実用英語技能検定（英検）を目標資格とし、まずは中学卒業までに50%以上が3級を取得することを目指します。（現在21.0%、全国取得率27.2%）これまで中学生のみとしていた対象を小学生にまで拡充し、5級から受検料を年1回全額補助します。

⑨ 「フェンシング専用練習場」の創設、「大学等と連携した指導体制」の充実、「スポーツ施設と指導のデジタル化」の推進

フェンシングにおける輝かしい本市の歴史に立ち、お家芸としてますます発展させるため、子供から大人までが利用できるフェンシング専用練習場を創設し、ハイレベルな練習の場とします。併せて全国からの合宿を誘致します。また、各種スポーツにおいて、大学と連携したオンラインや直接指導、市内の施設においてICT機器を活用したデータ分析等を活用するなど、最新の技術のもとトレーニングを行う環境をつくります。その結果として、フェンシングに限らず、憧れの「JAPAN」のユニフォームをまとう児童生徒を輩出します。

Ⅱ 誰一人取り残さない【10年総額 2.5億】

① 「つまずき確認テスト」の実施

小学2年生及び中学1年生を対象に、学力調査では見取ることができない「つまずき」の原因を探り、授業や補充学習等で、児童生徒の指導・支援に生かすことを目的としたテストを実施します。

② 「特別支援教育ソフト」の導入

個別の支援を要する児童一人ひとりの実態を客観的に把握し、適切な指導・支援につなげる特別支援教育ソフトを全小学校に導入します。

③ 「不登校・別室登校支援・学習サポーター」の増員

学習サポーターは、学校における別室登校児童生徒の学習指導や家庭訪問等を行っている市教育サポートセンター所属のスタッフを現在の6名から4名増員して10名を配置し、子供の学習や生活を支援します。

④ 子供の居場所づくりをする「民間団体」への経済的支援

子供が安心して学んだり遊んだりできる環境づくりに取り組むフリースクール等の民間団体の運営を支援します。

また、ひきこもり調査を実施し、一人ひとりの実態に合わせた支援策を検討します。

⑤ 「学童保育センター」の施設の充実

学校再編を見据え、放課後の遊びや生活の場である学童保育センターの運営の充実を図ります。

⑥ 「プロインストラクターによる水泳補講」の実施

震災を経験し「海と生きる」を標榜する本市においては、多くの子供たちが海や水泳に親しんできました。ところが、コロナ禍で水泳授業の減少による特定の年代で泳げない子供の比率がはっきりと高まっています。コロナ禍により水泳授業ができなかった年代（中学生）を中心に、なるべく多くの生徒を対象にスイミングスクールでの「水泳教室」を長期休業中に実施し、命を守るための水泳技能を習得する機会を設けます。

令和7年度以降にスイミングスクールでの水泳授業を実施することを検討します。

Ⅲ 先生への投資【10年総額 3.5億】

① 「指導者用デジタル教科書」の完全導入

小学校用教科書が、令和5年度採択替えすることにより、令和6年度から従来の紙媒体に加え、全教科にデジタル教材を搭載した指導書を導入します。

中学校については、令和6年度に採択替えが行われるため、令和7年度から導入予定です。

② 「マイスター教員」の派遣

高い指導力を有する教員OBから、初年度算数・数学1名、英語1名、ICT1名、計3名を雇用し、全小中学校へ派遣し、巡回指導を行います。

③ 「指導力向上研修会」、「先進地視察研修」の実施

教員の指導力向上を図るために、長期休業日や市主催研修会の機会を活用し、大学教授や民間講師等を招聘しての研修会や先進地への視察研修を実施します。

Ⅳ その他新規【10年総額 2億】

今後の新たな取組について随時追加していきます。

「教育パッケージ～人口減でも人材豊富に～」の所要経費見込み

実施項目	令和6年度 所要見込み	10年間総額 (令和6年度～15年度)
I 子供への投資 中学生修学旅行の進化, 小学生科学校外学習の進化 学校図書充実 講演会・体験会の定期実施 AIドリルの導入 プログラミング教材の導入 ALT増員による幼少期からの週末英語教室の実施 マンツーマンオンライン英会話の導入 国内語学研修3泊4日の実施 海外短期語学留学への派遣 英検受験料の全額免除 フェンシング専用練習場の創設, 大学等と連携した指導体制の充実, スポーツ施設と指導のデジタル化の推進	約 1.2億円	10.0億円
II 誰一人取り残さない つまずき確認テストの実施 特別支援教育ソフトの導入 不登校・別室登校支援・学習サポーターの増員 子供の居場所づくりをする民間団体への経済的支援 学童保育センターの運営の充実 プロインストラクターによる水泳補講の実施	約 0.2億円	2.5億円
III 先生への投資 指導者用デジタル教科書の完全導入 算数・数学, 英語, ICTマイスター教員の雇用と派遣 教員の指導力向上研修会, 先進地視察研修	約 0.5億円	3.5億円
IV その他新規	約 0.2億円	2.0億円
総 額	約 2.1億円	18.0億円